

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		笑って元気教室				所管	健康部 保健サービス課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等			〔法令等名〕					
	事業対象	区内在住又は在勤の40歳以上の方							
	事業目的	笑うことにより脳を活性化させ、手足を動かす運動等を通じて血糖値を下げ、認知症や生活習慣病等の予防につなげる。							
	事業内容	○お笑い芸人による漫才等を楽しみ、その後、運動指導員の指導により椅子に着席状態で、手・指の簡単な運動やストレッチなどを行う。 ○場所 千束健康増進センター ○開催日及び回数 5月～3月まで 毎月1回 年11回(8月は無し) ○募集人員 各25名程度							
委託の有無	一部委託		委託内容	お笑い芸人による漫才、運動指導業務					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	教室開催数 (回)		11	11	11	11		
	成果指標	参加者数 (人)		220	177	212	186		
	決算額 (単位：千円)				861	853	801		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,800	1,666	1,704		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			861	853	802		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			2,661	2,519	2,506		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			2,661	2,519	2,506				
前年度から改善した事項		より一層区民にとって利用しやすい施設となるよう、健康増進センターの利用方法をわかりやすく記載した掲示物を作成し、センター内に掲示した。また、常日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、利用者のニーズを把握することにより、事業内容等に反映できるよう努めている。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	参加者は前年度と比べ減少しているが、終了後のアンケート調査では満足度は高く、必要性は高い。						
	効率性	3	笑うことにより脳を活性化し、軽い運動で無理なく体力の向上を図っていくことは、生活習慣病の予防や認知症の予防に有効である。						
	手段の適切性	4	漫才、運動指導ともに民間委託をしている。また、教室内容が画一的にならないよう毎回創意工夫することにより参加者数を確保しており、より効率的な運営を図っている。						
	目的達成度	3	定期的な利用も多く、地域を中心とした区民に定着した事業である。利用者の入れ替わりも多くあり、継続の必要性が高い。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
教室の趣旨を理解してもらい、今後もより多くの区民が参加できるよう周知を図り、参加者の拡大を図る。						維持			